



平成29年1月10日

各位

会社名 日本ファイルコン株式会社
代表者名 代表取締役社長 名倉 宏之
(コード 5942 東証第1部)
問合せ先 常務取締役 管理・経営企画管掌
兼管理本部長兼経営企画室長
齋藤 芳治
(TEL 042-377-5711)

2017年度～2019年度「中期経営重点課題」 および「カンパニービジョン」に関するお知らせ

当社は、企業理念および行動指針を踏まえ、2017年度から2019年度までの3か年を対象とする「中期経営重点課題」および「カンパニービジョン」を策定いたしましたので、お知らせいたします。

当社は、経営機能の強化や経営の透明性の向上を図りつつ、社内カンパニー制や執行役員制度の導入等環境の変化に迅速に対応できる経営体制を確立してまいりました。

さらなる持続的な成長を確保するため、2017年度から2019年度の「中期経営重点課題」の6項目を着実に実行し、将来への足掛りにするとともに、各事業分野の事業の自立と発展を目的として定めた「カンパニービジョン」の実現を図ってまいります。

記

1. 企業理念および行動指針

【企業理念】 夢を持ち一生懸命を楽しもう
総力で一步先行くものづくり
感謝と誠意をかたちで社会へ

【行動指針】 国際競争力を高める
高収益企業を目指す
環境運動、安全対策に積極的に取り組む
顧客満足を追求する
改革、革新をはかり、新たな発想、創造性を求める
人間性を尊重し、知識、経験を蓄え、個を確立する

2. 中期経営重点課題

①事業の自立と発展を実現する

事業を取り巻く環境が厳しい中でも、常に事業の継続的発展のための方針を自ら立て、意思決定し、実行し、業績の最大化を図ってまいります。

②顧客満足を追求する

常に「熱意」「創意」「誠意」をもって顧客満足を追求してまいります。

③経営資源の適正な配置と効率的な運用を追求する

それぞれの事業が有する経営資源を再度見直し、価値の最大化を図ってまいります。また、支出の大きい固定資産の投資にあたっては、今まで以上に回収可能性や付加価値を追求してまいります。

④グループシナジー効果の最大化を追求する

当社グループが保有する市場情報、顧客情報、技術、人材等を共有し、協働することで各事業のビジネスチャンスの拡大を図るとともに、新規事業参入のスピードアップを図ってまいります。

⑤新規製品の開発・新規事業の創出を目指す

当社グループが今後さらなる発展を遂げるために、グループシナジー効果を最大限発揮させつつ新規製品や新規事業の創出を目指してまいります。

⑥個人の自律意識を高め推進する

組織および個人が自らの使命・役割を認識し、今何をすべきか、将来に向かって何をすべきかを自ら考え、行動することでその責任を果たしてまいります。



3. カンパニービジョン



高付加価値・差別化製品を市場に提供し、当社グループ各社とシナジー効果を高め市場を開拓してまいります。また、新規製品の開発や新規事業の創出に加え、高品質・低原価を目指し、改善を継続してまいります。



ライフサイクルコストを考えた製品・サービスを提供してまいります。また、関西金網グループ全体でより迅速、正確、誠実な顧客対応を行ってまいります。



高品質を維持しながら、価格競争力と付加価値を生む技術力をつけ、市場競争力をさらに高めてまいります。また、新規事業の発展と従来事業の改善を目指し、着実に前進してまいります。



プール・ろ過装置の技術力向上と営業力強化を通じて、アクア事業をより強靱なものにしてまいります。また、多材質プール・ろ過装置の総合メーカーとして、より高度で包括的な解決策・提案を顧客に提供してまいります。

以上